

例年よりも秋の訪れが遅れている北海道です。先月『ウポポイ』を紹介させて頂きましたが、今回はもう一つすばらしいロケーションにある阿寒湖畔の『阿寒湖アイヌコタン』を紹介します。

アイヌの人達が暮らす集落をコタンと呼びマリモで有名な阿寒湖周辺に最大規模のアイヌコタンが有り、36戸・120人が暮らしています。

1960年頃に整備されアイヌの人々が昔からの生活を行い、工芸品作りや歌・踊りなどの文化が受け継がれている地域です。工芸品販売店、アイヌ料理の食堂などが営業しており、文化に直接触れ合えます。工芸品の一番人気は木彫りフクロウの置物です。可愛らしくて私も1つ購入しました。

こちらでは商店街を散歩する気軽さでアイヌ文化に触れるだけでなく、学ぶ事も出来るすばらしい所です。もちろんアイヌ民家を再現した生活様式も見学できますし、アイヌ舞踏劇場もあり、古式舞踊も見る事が出来ますのでお勧めです。

アイヌ民族とフクロウの関係、特にシマフウロウ(残念ながら現在では北海道にしか生息していない)はアイヌ民族から神として崇められていることから木彫りフクロウが身近にたくさん見られます。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

GOTOイートキャンペーンデビューしました。コロナ禍のいま、休日に外食へ行くこと自体めっきり少なくなっているのですが、つい週末の休日の日が暮れるころ、ふとGOTOイートキャンペーンという文言が脳裏に浮かんできました。無意識なのか意識的なのかスマホでGOTOイート対象店を探し、当日予約可能なお店探しを始めました。

今回利用した媒体はホットペッパーです。一人あたり¥1,000分のポイントが返ってくる仕組みなので、掛ける人数ということになります。ちょっと前にも、錬金術なんてトピックスにもなっているので、当日予約は厳しいかなと思っていたのですが、あっさり予約出来、久しぶりに外でゆっくりお酒を呑んでおいしい料理をいただくことが出来ました。

GOTOイートのポイント結果ですが、ポイント加算が来店の日後7日後のようでしたが、今回はさらに変更され11月9日にポイントが付くということでしたので、まだ実感がなく、ただ掛ける人数分なので単純に計算出来るのですが、実際にポイントが付くまでですね。楽しみでもありますね。次も使うかって?機会があれば、ですね。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-



先月は気分転換ドライブ第一弾でしたが、今回は第二弾。関西圏でドライブのみ目的で行くにはピッタリのコース、まだまだあります。

今回は淡路島です。淡路ICを降りてぐるっと時計回りに一周。国道28号をまず南下。途中海岸線を気持ちよく走れます。途中から県道76号に回り、なるべく外周を回ります。途中、迷いそうになりながら『道の駅うずしお』に向かう。ここはタマネギのUFOキャッチャーがある事で有名ですが、淡路島の南端にあり一本道。途中で封鎖して手前のパーキングに入れられる。ここで送迎バスに乗り換えて向かうとの事。さすがに密々の状態の為、断念。

後半は西海岸を走ります。途中に茶色の看板で『アイイチ』の標識が多数。そうここは自転車での淡路島一周のコースでもありました。一周約150km、サイクリストも多く走っている。安全に留意しながら走ります。今度は北端にある道の駅あわじに寄る。ここは明石海峡大橋のふもとで絶景ポイントでもあります。そして食事は『生しらす丼』を食す。生のしらすは新鮮でないと思われられない為、大阪では中々食べられない。ソーシャルディスタンスに注意し、美味しく頂きました。

まだまだ見所が多い淡路島。今回寄れなかった所も含め、また行ってみたいと思いました。



大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は三重県菟野町にあるアクアイグニスを紹介いたします。

ここは四日市市郊外の湯の山温泉にあるリゾート施設で、東名阪自動車道『四日市IC』から約15分、新名神高速道路『菟野IC』から約5分のところにあります。『癒し』と『食』をテーマにした複合温泉リゾートで、2012年10月にオープンしています。

この施設の名前の由来は、ラテン語で水を意味するアクアと火を意味するイグニスを組み合わせたもので、温泉・食材・男女などを表しているそうです。

元々の湯の山片岡温泉が新名神高速道路の用地になり、隣地へ移転するのを機に同じく経営していたイチゴ農園の卸先であったパティシエの辻口氏らと共同で事業を始めたのがきっかけのようです。約49,000㎡の広い敷地の中に温泉のほか、宿泊施設や辻口氏をはじめとする有名料理人がプロデュースする飲食店が出店しています。(高級そうな店が多そうですが...)

コロナ禍ではありますが、癒し等を求めて足を運ばれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

コロナウイルスがなかなか落ち着かない昨今、特に用事がない限りは無駄な外出を控えている毎日です。何をしても過敏に反応しないといけな毎日。一日でも早く特効薬、ワクチンなどが開発されることを切に願うばかりですね。

さて、休日になると何処にも出掛けられないという不精な日々を過ごしていますが、ここまで自粛していると流石に何か真新しいものを探したくなります。そんな時、コロナのためにライブが中止になったアーティストが生ライブ配信をするメールが送られてきたため、さっそくライブチケットを購入しました。

当日、飲み物に食べ物、部屋の電気は消して準備万端。配信時間まで楽しみに仕方ありません(汗)。配信が始まると同時に好きな音楽が流れ始め...1時間。もうびっくりでした。確かにライブハウス、コンサート会場で見ると雰囲気とは全く違いますが、それでも制作側が観客を楽しませようと、色々と凝った演出を見せようとしている努力は『素晴らしい』一言でした。

ただ、やっぱりライブは実際に会場へ足を運んで、臨場感たっぷりの中で楽しみたいですね。一日でも早く、コロナウイルスの影響が落ち着くこと、また色々と生活が安定していくことを願っています。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

インドネシアでは3月初旬頃、政府がコロナウイルス感染を正式発表した後、ショッピングモール、学校などはすべて停止されていました。

ショッピングモールは、最近様々なコロナウイルス関連ルールの下で活動が再開され始めていますが、学校は未だに始まっていません。自宅でコンピューターを使ってのオンライン授業が続けられています。

既に半年以上経過し、小学生から大学生までコンピューターでのオンライン授業をし続けて退屈です。場合によってはストレスを感じている学生たちも多くなってきています。更に5月は新入学の時期であり、学生たちは通常、希望校の試験を受けて入学します。今回はコロナウイルス感染予防のために、入学関連資料の手続き、

入学試験などは全てオンラインでやらなければなりません。コンピューターを使いこなしている親・学生であれば、今のオンライン手続きはそれほど苦ではありません。しかし、コンピューターを使い慣れていない、またコンピューターを初めて触った親・学生も中にはいます。そういった人たちは、今のオンライン授業、オンラインによる入学手続き、試験などはかなりのプレッシャーでストレスを感じています。今のオンライン授業、入学試験などでうまくコンピューターを使用できない学生達がいる、更にその親達も困っている自分の子を助けることができません。結果的に何人か自殺しようとした学生がいて、最近新聞に載っています。

コロナウイルス感染の悪影響は既にあちこち広がっていて、早くワクチン、薬などが開発されることを祈っています。

KJ(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～持ち点は12点～

新車販売台数が年間2,500万台を超える中国市場、今やその市場規模は世界一です。KHEの社員でもマイカー通勤が増え、開業当時は1,2名だったのが今では70台以上の車が並び、会社の駐車場もパンク状態です。

通勤ラッシュ時は大渋滞、追突事故もよく目にします。高速道路や市内の交差点にはいたる所に違反取り締まりのカメラが設置され、その数の多さに驚かされます。さらに、携帯アプリをダウンロードし、車両情報を登録すれば自分の違反履歴を詳しく確認できてしまいます。違反の日時、場所、内容が詳細に一覧され、個々の記録をクリックすると違反時の詳細な画像までもが見られるのです。ナンバープレートもはっきり映るカラー映像でその精度は驚きです。

中国の運転免許証は点数減点システムで違反の内容により減点ポイントが異なります。免許不携帯なら1点、運転中の携帯電話は2点、信号無視は6点、酒気帯び運転なら12点で一発取消しです。カメラでとらえられた違反内容はすぐに携帯電話に通知が届き、合わせて罰金の支払いも行います。持ち点は12点。1年間でこの12点を失うと免許となり、再度試験を受けなければなりません。

ドライバーたちは免許を避けるため、友人同士で点数の貸し借りをします。1年経過し、罰金も収めていれば、点数がチャラ。無傷の12点に戻ります。友人間での点数の貸し借り、そして一年間でチャラに。厳しさとゆるさを併せ持つ面白い仕組みです。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

少しずつ秋の気配が見え始めていますが、ここカリフォルニアでは熱波が続く山火事の終わりが中々見えない状況です。

アメリカのコロナウイルスによる感染被害は一進一退を続けていて全米の累計感染者数は700万人を超え、累計死者数は20万人に達しました。

さて、コロナ禍で在宅状態が続く中、私自身2つハマっているものがありますので今回はそのことについて書きたいと思います。先ず1つ目はゴルフです。当然ながら緊急事態宣言発令当初はどこにも行けず、家にももっていましたが、徐々に規制も緩和され、その中でも比較的早く解禁になったのがゴルフ場です。

アメリカのゴルフ場は日本と違いロッカールームこそありますが、基本的に着替える事もなく、お風呂に入る習慣もありません。駐車場から直接ゴルフ・カートに乗り換えてプレー場へ向かいます。支払いもオンラインで済ませてあり、基本的に人との接触はありません。コロナ対策もしっかりしており、カートも一人一台なのでソーシャルディスタンスはしっかり取れています。やはり少しでも外に出てストレスを発散するのは心身ともに良い事だと思います。

そして2つ目はスポーツ観戦です。今年はそれぞれのプロスポーツで開始時期が遅れ、短いシーズンになっているという影響もあり、プレーオフが重なっています。実際に今現在NHL(アイスホッケー)、NBA(バスケットボール)、MLB(野球)が同時に行われている最中です。さらにNFL(アメリカンフットボール)やカレッジフットボールも始まり、それに加えテニスやゴルフのメジャー大会やインディ500などのレース、ケンタッキー・ダービーなどなど盛りだくさんで、どれを優先して観るか迷ってしまいます。

最後にスポーツではないのですが、大統領選挙におけるディベート(討論大会)も予定されておりこちらも白熱の展開になりそうです。

KGS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

～どこにもフライト/クルーズしない…～

旅行を待ちきれない人達で航空会社やクルーズ会社は、とても売上げが好調でした。このフライト/クルーズは、どこにも止まることなく出発した同じ場所に到着します。しかし、環境的には、無意味なフライト/クルーズによって炭素が発生します。

シンガポール航空も当初は『どこにも止まらないフライト』をと考えていましたが、環境に関する苦情が非常に多かったため、この考えを破棄しました。

代わりに、A380機のエコノミーからスイートクラスにて昼食または夕食をとるプログラムを開始しました。提供されるメニューは通常のフライトメニューですが、良いレストランと比較しても非常に高い価格です。たとえば、ビジネスクラスで昼食をとる場合、1人あたり300シンガポールドル(約23,000円)と非常に高額です。

しかし驚いたことに、購入希望者が非常に多く、販売開始30分で完売しました。購入者は、普段ビジネスクラスに乗る機会がなく、何ヶ月もどこにも旅行できず退屈しているかもしれません。

旅行できない小さな都市/国としては、出かける選択肢は非常に限られます。公園/自然/ショッピングモールなどありますが、何ヶ月も続く別のもので楽しむたくなるものです。

KIO(シンガポール)(E.Wong)